
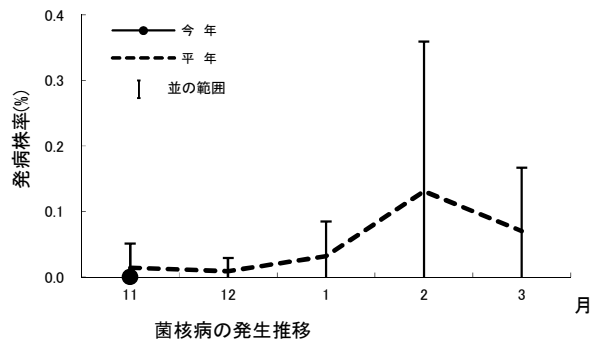


作物	キャベツ	地域	沖縄群島
病害虫名	菌核病		
11月の発生量（現況）	(発生なし)並		
12月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	発病株率の平年の発生推移から、11月と同程度の発生量と考えられる。		

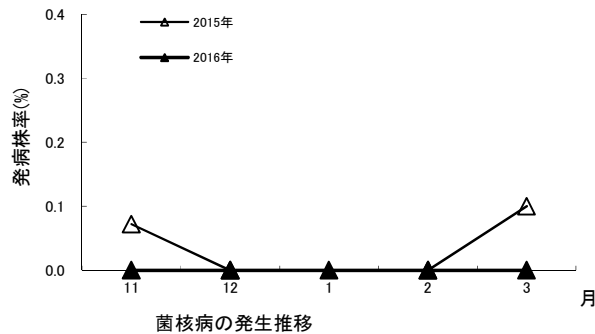
発生量の根拠（調査結果）

- ・ 11月下旬の調査の結果、発病株率は0%（前年0%、平年0.1%未満）と平年並であった。

（今年のデータ）



（過去2年のデータ）



防除のポイント

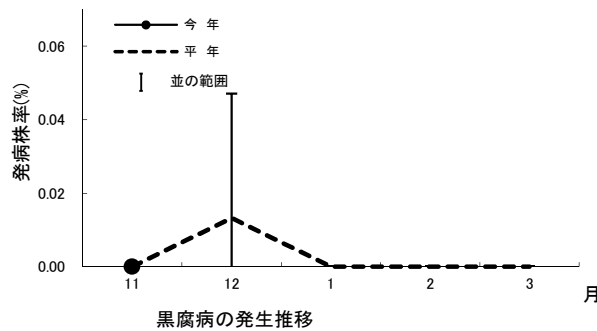
- ・ 密植栽培を避けて、通風をよくする。
- ・ 被害株は菌核を形成しないうちに、早めに抜き取る。
- ・ 本病が発生しやすい作物での輪作・連作は避ける。
- ・ 多発生した場合は、休閑期に天地返しや土壌消毒を行う。

作物	キャベツ	地域	沖縄群島
病害虫名	黒腐病		
11月の発生量（現況）	(発生なし)並		
12月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	発病株率の平年の発生推移から、11月より発生量が増加すると考えられる。		

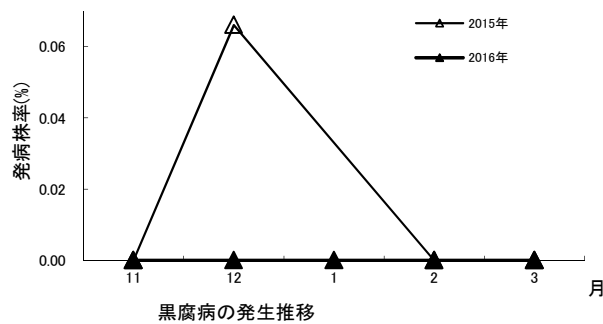
発生量の根拠（調査結果）

- ・ 11月下旬の調査の結果、発病株率は0%（前年0%、平年0%）と平年並であった。

(今年のデータ)




(過去2年のデータ)



防除のポイント

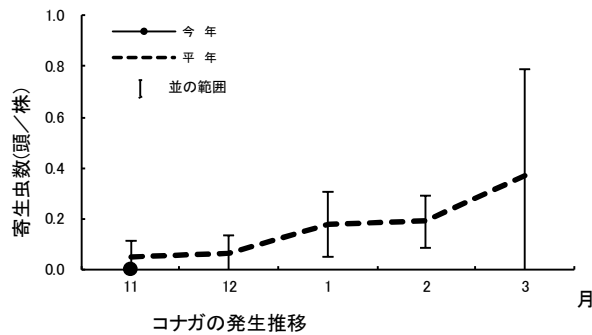
- ・ 圃場の排水を良くするとともに、密植栽培を避けて通風をよくする。
- ・ 害虫の食害痕は病原菌の侵入口となるので、害虫の防除も徹底する。

作物	キャベツ	地域	沖縄群島
病害虫名	コナガ		
11月の発生量(現況)	(発生なし)並		
12月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	寄生虫数の発生推移から、11月と同程度の発生量と考えられる。		

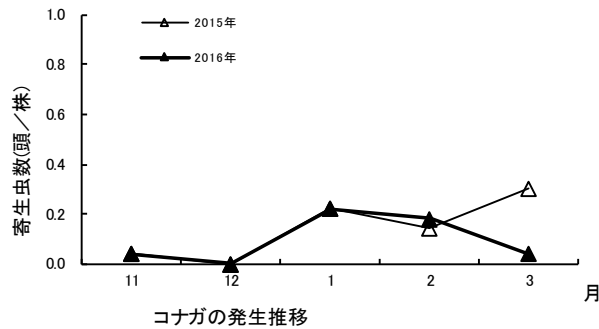
発生量の根拠(調査結果)

- ・ 11月下旬の調査の結果、株当たりの寄生虫数は0頭(前年0.1頭未満、平年0.1頭)と平年並であった。

(今年のデータ)




(過去2年のデータ)



防除のポイント

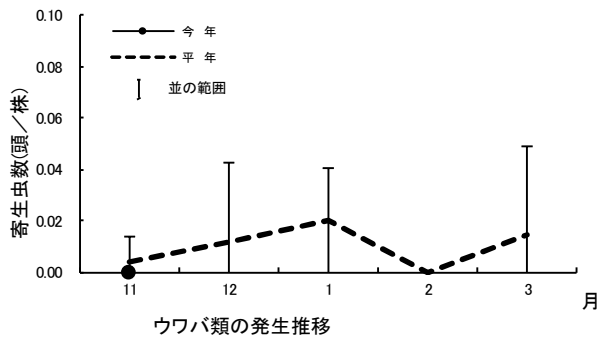
- ・ ほ場周辺のアブラナ科雑草の除去および収穫後の残さ処理を徹底し、ほ場管理に努める。
- ・ 多発すると防除が困難になるので、低密度時に薬剤防除を行う。

作物	キャベツ	地域	沖縄群島
病害虫名	ウワバ類		
11月の発生量(現況)	(発生なし)並		
12月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	寄生虫数の発生推移から、11月より発生量が増加すると考えられる。		

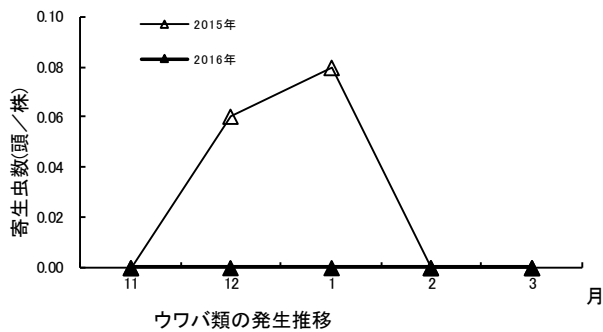
発生量の根拠(調査結果)

- ・ 11月下旬の調査の結果、株当たりの寄生虫数は0頭(前年0頭、平年0.1頭未満)と平年並であった。

(今年のデータ)




(過去2年のデータ)



防除のポイント

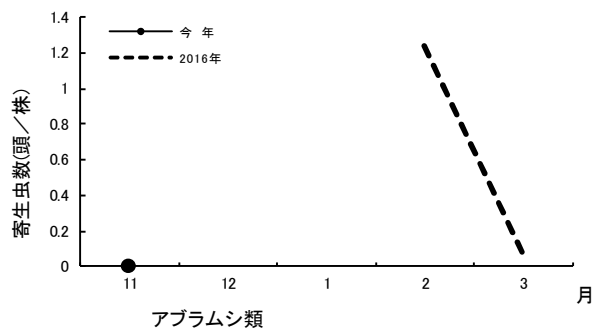
- ・ ほ場周辺の雑草の除去および収穫後の残さ処理を徹底し、ほ場管理に努める。

作物	キャベツ	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
11月の発生量（現況）	判定不可		
12月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	今後1か月の降水量が多い見通しから、11月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

- ・ 11月下旬の調査の結果、株当たり寄生虫数は0頭であった。

（今年のデータ）



防除のポイント

- ・ 多発すると防除が困難になるので、葉裏を観察し、早期発見・早期防除に努める。
- ・ 天敵に影響の少ない、選択性殺虫剤を選定する。